

令和6年3月28日

日本下水道協会規格 「直接投入型ディスポーザ(JSWAS K-20-2024)」 を発刊しました。

日本下水道協会では、新たに「直接投入型ディスポーザ(JSWAS K-20-2024)」規格を制定し、発刊しました。

発刊の目的

- 日本下水道協会では下水道事業の円滑な推進に資するため、既に家庭等の台所や厨房から発生する生ゴミ等を破碎し、破碎された生ごみを搬送後に処理し、公共下水道に放流する「ディスポーザ排水処理システムーディスポーザ部・排水処理部ー」(JSWAS K-18-2020)規格を制定し品質の高い規格適合型式に基づく認証製品が市場に多く出荷され、主に都市部の共同住宅において普及しております。
- 一方、近年、生活様式の変化、生ゴミ問題、人口減少・少子高齢化社会への対応、また、有機物及びエネルギー循環等、多様化する社会情勢や課題解決の視点から、家庭等の台所から発生する生ゴミ等を破碎し、直接公共下水道に放流する、直接投入型ディスポーザが、有効な選択肢の一つとして期待されております。
- これにより、国土交通省では社会実験を行い、各下水道管理者が直接投入型ディスポーザの導入の可否を判断する際の技術的資料として、平成17年に「ディスポーザ導入時の影響判定の考え方」が作成されました。
- 日本下水道協会では令和2年に「ディスポーザ排水処理システムーディスポーザ部・排水処理部ー」(JSWAS K-18-2020)規格を制定し、現在、一部自治体においては、独自にディスポーザ排水処理システムのディスポーザ部を直接投入型ディスポーザとして、設置を認めているところです。
- このことから、令和5年4月に排水設備等規格化・適合評価委員会を設置し、委員会で4回審議を行い、令和6年3月15日付で「直接投入型ディスポーザ(JSWAS K-20-2024)」規格として制定しました。
- 本規格は下水道管理者が導入の判断をした上で、適用可能となるものです。
- 本規格が多様化する社会情勢や課題解決に資するものと期待しています。

お問い合わせ先: 公益社団法人 日本下水道協会 規格検査課:

TEL:03-6206-0946 (9:00~17:00) E-mail:kensa@ngsk.or.jp



JSWAS

直接投入型ディスポーザ

JSWAS K-20-2024

令和6年3月15日制定

公益社団法人 日本下水道協会